

令和8年度 3年次 教科シラバス

教科	科目	単位数	学年次	集団
商業	マーケティング	2	3	文系選択者

使用教科書	副教材等
マーケティング（実教出版）	

科目の目標
<p>商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、マーケティングに必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) マーケティングについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) マーケティングに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3) ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、マーケティングに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	マーケティングについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。
② 思考・判断・表現	マーケティングに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、マーケティングに主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

評価方法
<p>① 知識・技能・・・定期試験、小テスト</p> <p>② 思考・判断・表現・・・定期試験、提出物の点検</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度・・・授業への取り組み状況</p>

学習計画						
月	【項目】	【単元】	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	マーケティングの概要	概要・歴史・環境分析・マネジメント	マーケティングを学ぶ意義を理解している。	○		○
	消費者の行動の理解	消費者の心理と行動	消費者行動について理解している。	○		○
		購買意思決定過程・影響	消費者の心理や購買意思決定までの過程、行動に影響を与える要因について理解している。	○		○
5	市場調査	概要・手順・仮説検証・実態調査	市場調査について理解し、関連する技術が身に付いている。	○		○
6	STP	①セグメンテーション	STP分析を理解し、関連する技術を身に付けている。	○		○
		②ターゲティング	STP分析に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいてその解決方法を考察できている。		○	○
		③ポジショニング	STP分析について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。		○	○
7	製品政策	概要、新製品開発	製品政策について企業における事例と関連付けて理解している。	○		○
		販売計画と生産計画	経済や消費者の動向などを踏まえ、課題を発見している。		○	○
		製品政策の動向	製品政策について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、製品政策に主体的かつ協働的に取り組んでいる。		○	○
9	価格政策	価格政策の概要	価格政策について企業における事例と関連づけて理解している。	○		○
		価格の設定方法	価格政策に関する課題を発見し、立案して実施、評価、改善している。		○	○
		価格政策の動向	価格政策について自ら学び、経済や消費者の動向を踏まえ、価格政策に主体的かつ協働的に取り組んでいる。		○	○
10	チャネル政策	チャネル政策の概要	チャネル政策について企業における事例と関連付けて理解している。	○		○
		チャネルの選択と管理	チャネル政策に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて、チャネル政策を立案して実施し、評価・改善している。		○	○
		チャネル政策の動向	チャネル政策について、経済や消費者の動向などを踏まえ、チャネル政策に主体的かつ協働的に取り組んでいる。		○	○
11	プロモーション政策	プロモーション政策の概要	プロモーション政策について企業における事例と関連づけて理解している。	○		○
		プロモーションの種類	プロモーション政策に主体的かつ協働的に取り組んでいる。		○	○
		プロモーション政策の動向	プロモーション政策について企業における事例と関連付けて理解している。	○		○
12	マーケティングの概要のひろがり	さまざまなマーケティング戦略	マーケティングの広がりについて企業における事例と関連付けて理解している。	○		○
		サービス・マーケティング	マーケティングの広がりに関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて対応策を考えている。		○	○
1		小売マーケティング	マーケティングの広がりについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。		○	○
		観光地マーケティング			○	○
2		グローバルマーケティング			○	○
		ソーシャルマーケティング			○	○

令和8年度 3年次 教科シラバス

教科	科目	単位数	学年次	集団
商業	観光ビジネス	2	3	文系選択者

使用教科書	副教材等
観光ビジネス（実教出版）	

科目の目標 商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、観光ビジネスの展開に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 観光ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2) 観光ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 (3) ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、観光ビジネスに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	観光ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけている。
② 思考・判断・表現	観光ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身につけている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、観光ビジネスに主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。
評価方法	
① 知識・技能・・・定期試験、小テスト ② 思考・判断・表現・・・定期試験、提出物の点検 ③ 主体的に取り組む態度・・・授業への取り組み状況	

学習計画						
月	【項目】	【単元】	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	観光ビジネスの概要	観光ビジネスの担い手	観光ビジネスの概要を理解している。	○		○
		観光ビジネスの動向	観光ビジネスの意義と課題について理解している。	○		○
5	日本の観光政策	観光ビジネスと地域	経済や消費者の動向などを踏まえ、観光ビジネスに主体的かつ協働的に取り組んでいる。		○	○
		観光ビジネスと地域				
6	観光ビジネスの主な産業	旅行業・宿泊業・旅客輸送業・娯楽業	観光とビジネスとの関係及び観光ビジネスについて理解している。	○		○
		その他の産業	経済や消費者の動向などを踏まえ、観光ビジネスに主体的かつ協働的に取り組んでいる。		○	○
7	観光ビジネスのマーケティング	観光ビジネスの顧客	観光が果たす役割と重要性を理解している。	○		○
		観光ビジネスにおけるマーケティングの意義				
		観光ビジネスのマーケティング戦略				
9	観光資源の発見と活用	観光資源とは何か	観光資源の活用に関する課題を発見できている。	○		○
		観光資源の保護と保全	科学的な根拠に基づいて、観光資源の活用に関する計画を立案して実施し、評価・改善できている。 観光資源と観光政策について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。		○	○
10	地方自治体の観光政策	地方自治体の観光政策の概要	地方自治体の観光政策の概要についての関連する技術を身に付けている。	○		○
		地方自治体の観光政策の実施内容	課題を発見し、科学的な根拠に持ちづいて、観光政策を立案して実施し、評価・改善できている。 地方創成や地域の滑石かなど主体的かつ協働的に取り組んでいる。		○	○
11	観光ビジネスと観光まちづくり	観光まちづくりとはな	観光による地域の活性化について理解している。	○		○
		観光まちづくりと地域の活性化のプロセス	観光による地域の活性化に関する課題を発見している。 科学的な根拠に基づいて、計画を立案して実施し、評価・改善できている。	○		○
12	実習 地域の活性化と観光まちづくりの実践	実習に主体的かつ協働的に取り組む	観光による地域活性化について理解している。 経済や消費者の動向などを踏まえ、観光ビジネスに主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○		○
1	プレゼンテーションをしてみよう		実習における成果をスライドにまとめ、発表できている。		○	○
2						

令和8年度 3年次 教科シラバス

教科	科目	単位数	学年次	集団
商業	財務会計 I	2	3	文系選択者

使用教科書	副教材等
新財務会計 I (実教出版)	

科目の目標 商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、会計情報の提供と活用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 財務会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2) 企業会計に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応するとともに、会計的側面から企業を分析する力を養う。 (3) 会計責任を果たす力の向上を目指して自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。
--

評価の観点とその趣旨

① 知識・技能	財務会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。
② 思考・判断・表現	企業会計に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を身に付けている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	会計責任を果たす力の向上を目指して自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協動的に取り組む態度を身に付けている。

評価方法

- ① 知識・技能・・・定期試験・小テスト
- ② 思考・判断・表現・・・定期試験、提出物の点検
- ③ 主体的に学習に取り組む態度・・・授業への取り組み状況

学習計画

月	【項目】	【単元】	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	財務会計の概要	企業会計と財務会計の財務諸表の構成要素 会計法規と会計基準	財務会計の概要について理解している。	○		○
			財務会計及び関連する法規と基準の意義について、企業活動の展開と関連づけて見だししている。	○		○
			財務会計の概要について自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協動的に取り組んでいる。		○	○
5	会計処理	資産と負債	会計処理について理論と実務とを関連づけて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	○		○
			6	純資産	会計処理に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と実務における課題を見出ししている。	○
		見出した課題について、科学的な根拠に基づいて課題に対応できている。			○	○
7		収益と費用	会計処理について自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協動的に取り組んでいる。		○	○
9	財務会計の作成	資産・負債・純資産に関する財務諸表	財務諸表の作成について理論と事務とを関連付けて理解し、関連する技術を身に付けている。	○		○
			財務諸表の作成に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と実務における課題を見出ししている。	○		○
			見出した課題について、科学的な根拠に基づいて課題に対応できている。		○	○
		収益・費用に関する財務諸表	財務諸表の作成について自ら学び、適正な財務諸表による適切な会計情報の提供に主体的かつ協動的に取り組んでいる。		○	○
10	財務諸表分析の基礎	財務諸表分析の意義	財務諸表分析について理論と実務とを関連付けて理解するし、関連する技術を身に付けている。	○		○
			財務諸表分析の方法の妥当性と実務における課題を見出ししている。	○		○
11		財務諸表分析の方法	見出した課題について、財務諸表をもとに企業の実態を分析できている。		○	○
			財務諸表分析について自ら学び、会計情報の効果的な活用に主体的かつ協動的に取り組んでいる。		○	○
12	問題演習		これまでに学習した内容について、理論と実務を関連づけて理解している。	○		○
1	問題演習		これまでに学習した内容について、課題を見出し、根拠に基づいて表現している。		○	○
			2	これまでに学習した内容について、主体的かつ協動的に取り組んでいる。		○

令和8年度 3年次 教科シラバス

教科	科目	単位数	学年次	集団
商業	情報処理	2	3	文系選択者

使用教科書	副教材等
「最新情報処理 新訂版」 (実教出版)	

科目の目標
<p>商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、企業において情報を適切に扱うために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3) 企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業において情報を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけている。
② 思考・判断・表現	企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力が身につけている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業において情報を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組む態度が身につけている。
評価方法	
知識・技能・・・定期試験 思考・判断・表現・・・定期試験、学習プリントの点検 主体的に学習に取り組む態度・・・授業の取り組み状況	

学習計画						
月	【項目】	【単元】	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	情報の活用と情報モラル	ビジネスと情報	ビジネスの諸活動における情報の意義や役割、情報活用の重要性について理解している。	○		○
		情報モラル	情報が社会に与える影響の大きさ、情報に対する責任の重さ及び情報を取り扱う際に留意することについて、討論などを通して理解している。	○		○
		ハードウェアとソフトウェア	コンピュータの基本的な機能や構成及び動作の原理について理解している。	○		○
5	情報通信ネットワークとセキュリティ管理	概要	ビジネスの諸活動における情報通信ネットワークの役割、インターネットの仕組み及びLANの形態について理解している。	○		○
		検索と収集	ウェブページで提供される情報の信頼性を見極めることの重要性について、具体的な事例の考察を通して理解している。	○		○
		受診と発信	電子メールを活用してビジネスに関する情報を受信・発信するための技法を習得している。		○	○
		管理の基礎	セキュリティ管理の必要性を、コンピュータウイルスや不正アクセスによる被害の具体的な事例をもとに理解している。	○		○
6	ビジネス文書の作成	表現	伝えたい内容を簡潔に分かりやすく表現するための文章の書き方及び敬語の使い方について理解している。	○		○
図形と画像の活用		図形や画像を編集するソフトウェア、デジタルカメラやイメージスキャナなどの各種機器を活用して、図形や画像を作成するための技法を習得している。		○	○	
9		基本文書の作成	ワープロの利用に関する知識と技術を習得し、文書の構成、構成要素の配置、文書作成の要領について理解している。	○		○
		応用	基本的な社内文書や社外文書を取り上げて、作成に関する知識と技術を習得している。		○	○
10	ビジネス情報の処理と分析	表の作成	ワープロの多様な機能を利用して、表やグラフなどを含む応用的な文書の作成に関する知識と技術を習得している。		○	○
			表計算ソフトウェアの有用性について理解している。	○		○
11		関数の応用	表計算ソフトウェアの統計、検索、論理、日付などの基本的な関数を活用して、ビジネスに関する有用な情報を導き出せている。		○	○
			目的に応じた適切な表で表現するための技法を習得している。		○	○
			表計算ソフトウェアの基本的な関数を習得し、ビジネスで必要とされる目的に応じた適切な表を作成できている。	○		○
12	プレゼンテーション	技法	表の検索や文字列の加工、データベース関数などの応用的な関数が利用できている。	○		○
			プレゼンテーションの意義について、ビジネスの諸活動における具体的な事例を取り上げて理解している。	○		○
1		演習	聞きやすい発声や話す速度、聞き手を引き付ける表情や姿勢、提案の趣旨を正確、簡潔に伝える構成などの技法を習得している。		○	○
			商品や地域の紹介などを取り上げ、ソフトウェアを活用して目的に応じた効果的なプレゼンテーションを行っている。		○	○